

メディアリリース

2016年11月3日

本資料は11月3日にチューリッヒで発表されたメディアリリースの翻訳版です

クレディ・スイス、2016年第3四半期黒字決算を発表

- クレディ・スイス・グループの当四半期の税引前利益は、前四半期比12%増の2億2,200万CHFでした。
- クレディ・スイス・グループの当四半期の調整後ベース税引前利益は、前四半期比13%増の3億2,700万CHFでした。
- アジア太平洋部門(APAC)、スイス・ユニバーサル・バンク部門(SUB)、インターナショナル・ウェルス・マネジメント部門(IWM)を合わせた当四半期の税引前利益は11億5,500万CHF(調整後ベース*:8億4,700万CHF)でした。
- 調整後ベース*の非報酬費用は、為替レートを一定として、前年同期比で12%減少しました。2016年11月3日時点の従業員数¹は2016年度目標の6,000人減に対して、5,400人減となりました。
- 株主帰属純利益は4,100万CHFでした。

厳しい市場環境の中で、ウェルス・マネジメント部門の2016年1-9月期新規純資産は309億CHFを達成

- ウェルス・マネジメント部門の当四半期の新規純資産は92億CHFでした。
- ウェルス・マネジメント部門の2016年1-9月期の累計新規純資産は、前年同期比40%増の309億CHFでした。
- ウェルス・マネジメント部門の2016年1-9月期の運用資産は、前年同期比9%増の7,250億CHFでした。

インベストメント・バンキング&キャピタル・マーケッツ部門(IBCМ)とグローバル・マーケッツ部門(GM)は黒字を計上

- IBCMでは、債券と株式の引受が期待を上回り、収益に大きく貢献しました。
- GMでは、中核をなすクレジット・フランチャイズが好調です。

資本基盤とレバレッジ比率は改善

- ルックスルーCET1比率は、前年同期比で180bp上昇して12%となりました。これには不動産売却益3億4,600万CHFと訴訟引当金3億5,700万CHFが含まれています。
- ルックスルーCET1レバレッジ比率は、前年同期比で60bp上昇して3.4%となりました。
- ストラテジック・リゾリューション・ユニット(SRU)では、前四半期比でレバレッジ・エクスポージャーを290億USD、リスク加重資産を30億USD削減し、クレディ・スイス・グループの資本基盤とルックスルーCET1レバレッジ比率の改善に寄与しました。

(P7)

* 調整後業績は、非 GAAP の財務指標です。最も直接的に比較可能な米国 GAAP 財務指標に対する調整後業績の差異調整については、11 月 3 日に発表された英語版メディアリリースの Appendix における調整項目の調整後数値をご参照下さい。

¹ 従業員数には常勤正社員に相当する社員、契約社員、コンサルタント、その他の臨時従業員が含まれます。また、退職者及び退職通知を受け取った社員も含まれます。